

## 後援会事業実施報告書

No. 1-21 教員名：澁谷浩一 アジア史ゼミ研修旅行

3月3日にアジア史ゼミで東京への日帰り研修旅行を実施しました。

今回のテーマは「東京で“味わう”シルクロードの歴史」です。

最初の目的地は築地本願寺。20世紀初頭、仏教東漸の歴史を解明するため探検隊を組織して大規模なシルクロード調査を行ったことで有名な大谷光瑞（浄土真宗本願寺派第22世宗主）が建築家伊東忠太に設計を依頼して誕生した独特の建築様式による大寺院です。二人の出会いの契機は日本の建築様式の起源を求めてシルクロードを旅していた伊東が現地で大谷探検隊の別働隊に出会ったことだと言われています。当日はあいにくの空模様で寺院は修築工事の最中でしたが、インドの建築様式を取り入れた独特の寺院を全員で参拝しました。

続いて池袋の古代オリエント博物館に向かいます。ここは文字通り古代のオリエントに関する充実した展示を誇る博物館で、シルクロード関係の貴重な文物を味わいながら広く西アジアの歴史を学習しました。

昼食は池袋のウイグル料理専門店。実は羊肉は初めてという学生もいましたが、店内は日本とは思えない雰囲気、花椒の効いたやや中華風(?)のシルクロード料理を堪能しました。普通こういった専門店は価格もそれなりにするものですが、安価で量も多くてびっくり。「食後も舌のしびれが・・・」との感想ももれた強烈な味わいでした。

最後の目的地は東京国立博物館です。ここは言うまでもなく短時間で見終えることは難しい巨大な博物館ですが、今回は、法隆寺宝物館でシルクロードを渡って日本にもたらされたペルシア様式の逸品、東洋館で大谷探検隊将来のシルクロードに関する貴重な展示品に注目しました。大谷探検隊に関する説明展示もあり、午前中に参観した築地本願寺とのつながりに思いを馳せながら充実した研修旅行を終えました。



築地本願寺にて



古代オリエント博物館入口



ウイグル料理で昼食



東京国立博物館法隆寺宝物館前にて